

健康づくりをみんなで考える会(市民ワークショップ)

本年度は2地区に分かれ、自らの健康づくりや子育てについてグループワークを行い、健康への思いを語り合いグループごとに発表した。

【新川・西枇杷島地区】

開催日	場所	参加人数
10月4日(水)	市役所3階 大会議室	30人

テーマ1:「安心して暮らすためには何が必要？」

テーマ2:「今後挑戦したいこと、あなたの夢は何ですか？」

主な意見:

①「ずーっと安心！！」

暮らすために自分で出来る事、その安心した暮らしをベースとしての夢について、行政の情報などの活用で自ら動き、地域とのつながりを保ち、活動していくことが大切。

②「安心して暮らしたいね～いくつになってもチャレンジ～」

チャレンジしたいことや、やりたいことは、年齢や人によって変わる。やりたいことの中には、健康が主体になっている。

③「夢をかなえる為に、新川の流れのように！！」

健康でいるからこそ今後も様々なことに挑戦したい、日常生活の小さなことから将来の大きなことまで、生き生き。

④「夢に向かって手をつなげば心もつながる」

夢を叶えるためには、自分も家族も健康でなければいけない、そして、夢のためには、人と人が手をつなぎ合い、心を通わせ、助け合いながら生活することが大切。

【清洲・春日地区】

開催日	場所	参加人数
11月15日(水)	清洲総合福祉センター	35人

テーマ1:「子育てで楽しかったこと、大変だったこと」

テーマ2:「地域で楽しく子育てをするために自分ができること、地域でやっていきたいこと」

主な意見:

①現在と約20～30年前では子育てで大変だと思えることは、異なっており、その違いをお互いに認識する世代間交流の機会となった。

②地域での見守り、声かけ、挨拶、コミュニケーション。

③子育ては、楽しいこと・大変なこといろいろな道があるが、自分たちのペースでゆっくり進んでいくことが大切。

④転入してきた方は、地域とのつながりが少ない中で子育てをしている状況だったため、相談相手がいなかった。みんなで楽しく子育てするために、地域で声かけをする事からはじめては。

⑤市内や町内での、子どもから高齢者のイベントやお祭り、子ども会の活発化、地域ぐるみの楽しい行事イベントを通じた交流。

アンケート結果

1. 年代・性別（回収率 69.2%）

(人)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
男	1	0	0	0	5	3	0	9
女	1	2	3	3	17	8	2	36
合計	2	2	3	3	22	11	2	45

2. 「健康日本21清須計画（第2次）」に関心を持っていただけましたか

- ①はい 40人（88.9%）
 ②あまり関心はない 0人（0.0%）
 ③どちらともいえない 5人（11.1%）



新川・西枇杷地区

3. 参加してどんな感想をお持ちになりましたか（複数回答可）

- ①健康についての現状を知ることができた 21人（46.7%）
 ②人と話し、視野を広げることができた 39人（86.7%）
 ③知識や経験を持つ方と知り合うことができた 18人（40.0%）
 ④健康づくりのきっかけができた 3人（6.7%）

4. まとめ

昨年度に続き、地区の健康課題を話し合ったことにより、住んでいる地域の実状を振り返り、参加者の関心と興味を引き出し、今の生活と健康づくりを結びつけ考えることができた。

グループワークを通して「人と交流することで幅広い方々からいろいろな意見が聞けて良かった」「健康は生活の基本、自らの健康は自らつくっていかねばならない」などの意見があった。また、「子育てしやすい町づくりをしたい」「地域の子供たちに声をかけていきたい」「関心のない人が少しでも減るような地域づくりができる」と良い」など地域に向けての意見もあった。

健康計画推進の課題として、「市役所で横断的に推進する必要がある、ワークショップも健康推進課だけでなく関係課が参加するとよい」また「健康づくりはどの世代にも必要なもので、各世代に分かりやすい情報発信をする必要がある」などがあった。



清洲・春日地区

それぞれ夢や子育てをテーマに意見交換をすることで、地域における健康づくり・子育てについて考えることができ、市民協働で健康計画を推進することにつながった。また、今回保健所・子育て支援課職員の参加があったが、今後更に他課・関係機関の連携を図って行くとともに、さまざまな世代の市民の参加を呼びかけていく。

【健康計画推進実務者会議】

日時：平成29年10月27日（金） 午後3時30分～5時

参加者：参加者18名（13課）

テーマ：①健康に関することで気づくこと、健康課題。

②妊娠期から子育て時期において一個人として家庭や地域で取り組んでいること。
各課が連携してできること。